

## 令和6年度 入学式式辞

確かな春の訪れを感じる本日ここに、御来賓の方々、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和6年度入学式を挙げていきますことを心から嬉しく思います。

ただ今、名前を呼ばれました218名の皆さんの入学を、心から歓迎します。

さて、私が新入生の皆さんにこの場でお伝えしたいのは一つだけです。

この3年間もしくは4年間で、「これだけは絶対他人に負けない何か」を見つけて、それを大切に磨いてください。これだけは絶対他人に負けない何かを持つということは、たった一つ負けない何かを持っているということは、他の全てに負けていても、他人に対して卑屈な劣等感を抱かずに生きていけるということです。誇りを持って生きている人に、人々は必ず敬意を払ってくれます。

その何かは勉強でも部活でもいいですし、誰よりも本を読むこと、気持ちのいい挨拶ができること、素敵な絵が描けること。何でもいいのだと思います。今持っている何かに磨きをかけてもいいですし、新しい何かをさがしてもいいと思います。他人には負けたくないと思えることを見つけ、それを大切に、自分の誇りにしてください。

自分自身に誇りを持つ人は、他者の誇りも大切にできます。高校在学中にそれぞれのペースでいいので、他者とかかわり、地域とかかわり、自分の世界を広げてください。

卒業後皆さんたちが歩み出す社会は予測困難な社会です。ウクライナやパレスチナで起きている戦いの先は見えません。今なお人類は環境破壊や温暖化の進行を止められずにいます。

一方で既存の価値観の転換や、人工知能の進化によって様々な社会課題が克服されようとしています。予測困難な社会は我々の努力によって、よりよい社会にもなり得ます。

在学中に自分自身を誇れる何かを見つけ、他者の誇りに敬意を払い、自らが学ぶ意味を問い続けてください。世界は広く、我々が希望を持って歩む限り、未来は明るいです。世界のどこかに、あなたに出会うことで救われる人が必ずいます。あなたにしかできないことが必ずあります。それを見つけるために今、自分自身を磨いてください。それが本校で学ぶすべての人の果たすべき責任です。

新入生の皆さん。改めて入学おめでとうございます。田名部高校は皆さんに高いレベルでの知性と品位ある振る舞いを求めます。同時にこれから皆さんがするであろう多くの失敗を許容します。我々教職員もまた挑戦や失敗を繰り返しながら、皆さんたちとともに歩みます。

これから始まる皆さんの高校生活が実り多いものであることを心から願って、令和6年度入学式の式辞といたします。

令和6年4月7日

青森県立田名部高等学校 校長 千葉 栄美